

神戸町（全域）

令和5年度

【地域の概要】

- 同町は、濃尾平野の北西部に位置しており、平坦な地が多く、田を中心に農地集積が進んでおり、畑についても肥沃な土壌を活かした施設園芸が盛んであり、野菜や花き等が生産されている。
- 町内の耕地面積は約828ha、うち集積面積は596ha（R6.3時点）となっており、集積率71.9%と、県内での集積率は上位に位置している。
- 農地集積が進んでいる一方、担い手の高齢化や農業後継者の減少が進んでおり、担い手の確保が課題となっている。
- 地域計画作成に向けて南平野地区において、農地中間管理機構関連のほ場整備を計画している箇所があり、まとめて集積・集約化できることから、地域計画の糸口として話し合いの場を設けた。

取組開始前の状況や課題

神戸町の人・農地プラン策定状況

同町では、町内を4地区に分け、4つの人・農地プランを作成し、令和2年度に全てのプランの実質化を完了。その後、神戸地区（1地区）のみ、令和4年3月に集積のための見直しを行ったが、残り3地区については見直しが行われておらず、地域計画策定と合わせ見直しを行っていく必要がある。

地域計画策定へ向けた取り組みの実施

南平野地区において、令和6年度から農地中間管理機構関連ほ場整備事業を行う予定地域があり、令和6年2月までに協議の場を実施する必要がある。事業予定の地域は15年以上の担い手が確約された地域計画策定にむけた理想形をなした地域であり、今後の他の3地区の見本としたい。

取組内容

地域計画の協議の場の実施（令和6年1月）

担当地区農業委員・推進委員および行政、農業関係団体等総勢約20名で、南平野地区において地域計画策定に向けての協議の場を設けた。

協議の場では、耕作者を落とし込んだ現況地図をもとに、現状の確認と担い手の耕作意向等の確認を行った。



今後の展開と方向性

神戸町全域の地域計画への展開

来年度末（令和6年度末）には神戸町の地域計画および目標地図を完成させる必要がある。その為にまず南平野地区で行った地域計画策定に向けた話し合いをベースに他の3地区についても南平野地区のノウハウを活用しながら地域計画策定に向け話し合いの場を設ける。

タブレットの活用

令和4年度に農業委員・農地利用最適化推進委員に導入したタブレット端末（23台）を活用し、土地の詳細情報を確認しながら精度の高い地域計画（目標地図）の作成に取り組む。